

2つの地域を並べて比べ、データの「差」から事実を読み取る

💡 このコンテンツでわかること



07-06では1つの地域のトサカ図を読み取りました。このツールでは**2つの地域を並べて比較**することで、グラフの「差」から見てくる事実を読み取ります。

同じインフルエンザのデータでも、地域によってピークの時期や規模が違います。「**なぜ差があるのか**」を**データから考える力**を身につけましょう。

📄 07-06 (単独表示) との違い

📄 07-06 (旧ツール)

1つの地域を選んでトサカ図を表示する。最大値・最小値・平均値・合計を確認できる。

→ **1つの地域の流行パターンを読む**

🌸 07-07 (このツール)

2つの地域を選んでトサカ図を**横に並べて比較**できる。ピークの時期・感染規模の差を視覚的に読み取れる。

→ **2地域の差から「なぜ」を考える**

🌿 デモデータに含まれる地域 (11都道府県 / 期間: 2024年36~52週)

東京都

大阪府

愛知県

福岡県

北海道

神奈川県

埼玉県

千葉県

兵庫県

静岡県

🖨️ ツールの操作手順

1 デモデータを読み込む

ツールを開き **📄 デモデータを使う** を押す。11都道府県のインフルエンザ感染者数が読み込まれる。

2 比較する2つの地域を選ぶ

「地域1」「地域2」のドロップダウンからそれぞれ都道府県を選択し、**🔍 比較分析を実行** を押す。

まずは「東京都 vs 大阪府」など人口規模が近い地域から比べてみよう

3 2つのトサカ図を読み取る

並んで表示された2つのグラフを比べよう。ピークの週・グラフの大きさ・形の違いに注目する。

4 組み合わせを変えて実験する

「大都市 vs 地方」「隣接県どうし」など、組み合わせを変えながら繰り返し比較しよう。差のパターンに気づいたらワークシートに記録する。

👁️ 比較グラフの読み取りポイント

🌸 2つのグラフを比べる時のチェックリスト

- ▶ **ピークの週**: どちらが先に感染者数が増えた? 何週ずれている?
- ▶ **グラフの大きさ**: スライスが大きい=感染者数が多い。全体的に大きい地域はどちら?
- ▶ **形の似ている部分**: 2つのグラフで同じ週に山がある場合、全国的な流行の波を示している可能性がある。
- ▶ **下がり方の違い**: ピーク後の収束スピードに差はある?

👥 グループ活動の流れ

STEP 1

予想する

比べる2地域を選んで、どんな差があるか予想する

STEP 2

比較する

グラフを表示してピーク・規模の差を読み取る

STEP 3

組替える

異なる組み合わせで比較を繰り返す

STEP 4

考察する

「なぜ差があるか」をデータをもとに考える

🔑 キーワード

比較分析 (ひかくぶんせき) 2つ以上のデータを並べて差を調べること。「なぜ違うのか」の原因を探る出発点になる。

流行の波 (りゅうこうのなみ) 感染症が時間をかけて広がっていく様子。大都市で先にピークが来て、地方に遅れて広がるパターンが見られることがある。

可視化 (かしか) データをグラフや図にして目で見えるようにすること。比較の場合、2つのグラフを並べることで差が「見える」ようになる。



ワークシート | ナイチンゲールのトサカ図 比較分析

07-07 データのナゾを体験しよう！

グループ名 _____ 記録担当 _____ 年 組 _____

A. 比較する前に予想しよう

1 比較する2つの地域を選んで書こう。どんな差があると思う？

地域1 : _____ VS 地域2 : _____

予想される差をひとこと書こう

B. グラフを読み取って記録しよう

2 2つの地域のグラフを読み取ろう（最低2組の比較を記録する）

比較項目	地域1 ()	地域2 ()
ピークの週	週	週
ピーク時の感染者数 (目安)	人	人
最も感染者が少なかった週	週	週
グラフ全体の大きさ	大・中・小	大・中・小

3 2組目の比較 (別の地域の組み合わせ)

比較項目	地域1 ()	地域2 ()
ピークの週	週	週
ピーク時の感染者数 (目安)	人	人
グラフ全体の大きさ	大・中・小	大・中・小

C. 気づき・考察

4 2つの地域を比べてみて、気づいたことを書こう (ピークのタイミング・感染規模の差など)

🌸 地域1のグラフの特徴

🏠 地域2のグラフの特徴

5 2地域の差が生まれる理由として考えられることを書こう (人口・地理・都市化など)

✅ グループのまとめ : 2つのグラフを比べることで、何が「見えてきた」か一文で書こう